

千人塚



愛南町城辺緑乙3263番地

町指定文化財史跡（ちょうしていぶんかざいしせき）。緑の智恵光寺にある五輪塔群で、天正11（1583）年土佐長宗我部軍（とさちょうそかべぐん）の御莊勸修寺侵攻による緑城の戦いで戦死した将兵の散在した墓を集めたものだとされている。

五輪塔

千人塚には、115基の五輪の塔がある。五輪塔は、大きいもので117センチあり、下から地・水・火・風・空（ち・すい・ひ・かぜ・そら）の五大を現し、仏教思想に基づき、平安時代に我が国で創始（そうし）されたものである。五輪塔は、形から言うと、古いものほどよく整っているが、千人塚のは形のくずれが目立ってきていることから、室町期（むろまちき）のものと思われる。

